



★平凡

芸能人の手ぬぐい展

～名人、スターたちの贈り物～



★平凡

※当時のスターを手ぬぐいに染めた芸能雑誌「平凡」の企画
(右:石濱朗/左:若尾文子) 昭和中期

2016年10月24日(月)～1月31日(火)

開催時間 / 午前10時～12時 休館日 / 土日祝 入館料 / 500円
午後13時～17時 (入場は閉館30分前)

『豊田満夫氏による芸能人手ぬぐい雑談会』: 2016年10月30日(日)11時～
2017年1月14日(土)11時～

会場 / 東京和晒創造館3階 ギャラリースペース T3

歌舞伎や寄席芸などの芸能の世界では、古くから楽屋見舞いの返礼や襲名披露をはじめ、挨拶のための配りものとして手ぬぐいが使われてきました。

豊田コレクションの中から戦前から現代までの歌舞伎役者、落語家、講談師、各種寄席芸の人々、また舞台俳優、映画スター、歌手など、芸能の世界で輝く名人、スターたちの配り物として制作された手ぬぐい100点余をご紹介します。

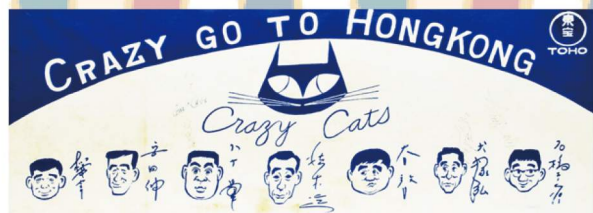
芸能界の手ぬぐいは、豊田満夫氏が長年携わってきた手ぬぐい制作の仕事の中心です。意匠提案の参考として手ぬぐいを集めたことがコレクションの始まりでした。ひねりの効いた意匠、個性豊かな絵柄の数々は、新たなデザインのヒントになりそうです。



1「十五代目市村羽左衛門」(煉瓦染 明治30年代頃)



2「五代目古今亭今輔」(注染 昭和中期)



3「クレージーキャッツ」(注染 昭和中期)

4. 俳優、歌手の手ぬぐい — スターたちの楽屋うち

「水谷八重子」「小唄勝太郎」「旭輝子」「雪代敬子」「美空ひばり」「江利チエミ」「太地喜和子」「市川右太衛門」「長谷川一夫」「高倉健」「石原裕次郎」「萬屋錦之介」「石浜朗」「西郷輝彦」他

5. 豊田満夫氏に聞く芸能界のあつらえ手ぬぐい

— 芸能人の手ぬぐい制作と豊田コレクション

「尾上松也」「吉永小百合」「中村メイコ」「田村亮」など
豊田氏が制作に携わったあつらえ手ぬぐいとエピソード。



豊田満夫氏
(1936年生まれ)

中学卒業後、日本橋の綿卸加工業に就職して以来勉強の為に手拭の蒐集を開始。名の無い庶民達の愛くるしいデザインの数々を後世に残したいと、50年以上の歳月をかけ手拭1万枚、印半纏400枚、風呂敷15,000枚、又ぼち袋やのし包みの他原画や型紙、ひな形絵本など多岐に渡りコレクションしています。

1. 歌舞伎界の手ぬぐい — 受け継がれる芸と意匠

「十五代目市村羽左衛門」「初代中村吉右衛門」「六代目尾上菊五郎」「十二代目片岡仁左衛門」「六代目中村歌右衛門」「二代目尾上松緑、八代目松本幸四郎、十一代目市川団十郎」他

2. 落語家の手ぬぐい — こだわりの意匠を競う

「五代目古今亭志ん生」「林家彦六」「三代目桂三木助」「六代目三遊亭圓生」「五代目古今亭今輔」「四代目柳亭痴楽」「三代目古今亭志ん朝」「立川談志」他

3. 講談、各種演芸、お笑いの手ぬぐい — 多彩な芸を染める

「神田紅」「のんき節石田一松」「キャンディーボーイズ」「クレージーキャッツ」他



4「旭輝子」(注染 昭和中期から後期)



5「田村亮」(注染 平成)



▲会場

〒124-0012 東京都葛飾区立石 4-14-9
東京和晒創造館 3階 T³
03-3693-3335(創造館直通)

▲開催日時

2016年10月24日(月)～1月31日(火)

▲開催時間

午前 10時～12時
午後 13時～17時(入場は閉館の30分前)

▲休館日

土日祝

▲申し込み方法

東京和晒創造館のHPからお申し込みください

HPアドレス <http://souzou-kan.info>

東京和晒創造館 豊田コレクション第8弾